

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.21〉

〈厚東④ 散策マップ〉

山あいに位置し、のどかな田園風景が広がる厚東地区。厚東川の西側にある棚井エリアには、気軽に歩いて回れる距離で厚東氏ゆかりの寺社仏閣が点在している。厚東ふれあいセンターを発着点に歴史のロマンを感じられるコースを歩いた。



田園風景に寺社や史跡が点在

癒やされながら 地区の歴史学ぶ

ふれあいセンターの裏手から道を進むと、厚東氏の菩提(ぼだい)寺として14世紀に建立された東隆寺(①)が見えてくる。背後の鳳凰山は、地



域住民が霜降山から昇る初日の出を楽しむスポット。寺を出て突き当たりを右に進むと、ハスで有名な浄名寺(②)に到着する。近くの民家に囲まれた道では、御東館跡(③)の看板を見つけた。かつてはこの場所に厚東氏の居館があり、館を取り巻くように城下町が形成されていたという。

しばらく進んだら川沿いに右へ。船木地区につながる千林尼石畳道(④)内にあるため遠目に眺められる。幕末に尼僧の千林が浄財を集め、人馬が通行しやすいよう整備した。今回は入り口でとどめて折り返し、県道215号方面へ。途中で左手に見えるヤマグワ(⑤)は、養蚕

業の名残である樹齢230年の古木。民家の敷地内にあるため遠目に眺められる。幕末に尼僧の千林が浄財を集め、人馬が通行しやすいよう整備した。今回は入り口でとどめて折り返し、県道215号方面へ。途中で左手に見えるヤマグワ(⑤)は、養蚕

地区の歴史を学べただけでなく、住民の手できれいに刈られた斜面など、市街地ではなかなか見られない風景に癒やされました。大行列が通った山陽道跡の「どんだけ道」、昨年整備されたばかりの霜降山の登山道「温見(ぬくみ)古道」などもあるので、ぜひチャレンジしたい。

次回は新川地区。5月9日スタート。